

肝内胆管癌におけるゲムシタビン+シスプラチン+ 免疫チェックポイント阻害薬療法の治療効果予測因子の探索

1. 研究の対象

2023 年 1 月から 2026 年 2 月までに、ゲムシタビン+シスプラチンに加えて、免疫チェックポイント阻害薬（デュルバルマブまたはペムブロリズマブ）による治療を受けられた、肝内胆管がんの患者さんを対象としています。

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日から 2030 年 12 月 31 日まで

研究目的：免疫チェックポイント阻害薬（immune checkpoint inhibitors: ICI）は、がんに対する新しい治療法のひとつで、現在さまざまながんで広く使われています。どのような患者さんに治療がよく効くのかについても、少しずつ分かってきています。

肝内胆管がんにおいても、ゲムシタビン+シスプラチンに免疫チェックポイント阻害薬を組み合わせた治療が、現在の標準的な治療となっています。しかし、どのような患者さんにこの治療がよく効くのかについては、まだ十分には分かっていません。この研究では、これまでに同じ治療を受けられた患者さんの診療情報を調べることで、治療の効果を予測する手がかりを明らかにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、手術歴および放射線治療歴、画像検査、血液検査、合併症等の発生状況、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 中堀 輔

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上